

# ITAMI大好き！

2012年8月

## 議員視察、単なるゼイタク旅行！？

### ●議員視察、どんなイメージ？

議員の視察。皆さんはどんなイメージでしょうか？「税金つかっての旅行？」「行く意味あるの？」「何か役立ってるの？」・・・実は私も、議員になる前は同様の印象を抱いていました。

実際に議員になり視察に行ってみると・・・「**視察を活かすも活かさないも議員次第！**」。伊丹市議会の**公費視察は1泊2日を年2回**(常任委員会と特別委員会)が基本で、当地の役所か現場で2時間ほど話を聞きます。確かに事前勉強せずポンヤリ参加すると、視察は「単なる旅行」に。しかし、事前に十分調査し、有益な情報を得ようと望むと、やはり有意義なものになり得るのです。電話での問い合わせや、インターネットでの調査でも一定の情報を得ることは可能ですが、現地に足を運び、担当者と生の質疑応答を重ねることで、現場ならではの多くの事柄を得られると実感するところ。そこで私は、必要以上の視察は見直した上で、**視察を活かす工夫を重ねるべきだ**と考える次第です。

### ●活かす方策は？

では具体的にどう活かすのか？ 下記の方法が可能と考えます。

○**視察先の選定**:伊丹では出来そうもない夢のような取り組みを視察しても「ふーん」で終わってしまう。

実際に伊丹で活用できるような取り組みを選定すべし。

○**事前勉強**:私は相当調べ上げます。伊丹市議会ではそんな議員も増え、事前に勉強していないと逆に恥ずかしい状況になりつつあります。某市では「**プレ視察勉強会**」を実施しているとか。伊丹でも取り入れたい。

○**本番の質問**:事前調査で分かる事柄は聞かない。“もしこの取り組みを伊丹で実施するなら”との仮定に基づく、リアルで具体的な質問が可能。私はこの意識でビシビシと質問しています。

○**事後報告**:行きっぱなしではダメ。伊丹に還元すべく、担当部署や市民に報告すべし。担当課報告は個人レベルではやっているが全体に広げたい。市民報告は、私はブログなどで詳しく記載。

公費を使用しているのだから市民還元しなければ詐欺。市民の方々にしっかり報告する義務がある。そこで今回は**視察報告を特集**してみました。下記にご報告いたします。

## 視察① 議会改革特別委員会！(H24年7月9～10日)

### ●よいと思ったことはジャンジャン改革！～長野県松本市～

議会改革の視察。1ヶ所目は**全国議会改革進捗度ランキング1位(2011年)の松本市議会**。あらゆる改革を積極的に実行中です。議員間の自由討議・委員会からの政策提案・傍聴者アンケート・・・ユニークなのは**議会改革について市民から意見を聴く「ステップ市民会議」**。議会の独りよがり防止になると感心。

有効と判断した改革はドンドン実現させている松本市議会。「議会改革は、議員間で温度差のあるもの。**一丸となって取り組んでいる秘策は？**」と問いました。いわく「①市民への大々的なPR ②議員全員が改革に携わる体制の構築 ③議論の議事録公開→**消極的議員もNOと言えない雰囲気**です」とのこと。納得。

### ●議論の進め方が見事！～長野県塩尻市～

松本市の隣の塩尻市。こちらも議会改革が進んでおり、**議会基本条例は約10ヶ月で作成したやり手市議会**です。塩尻市議会に一番聴きたかったのは「**驚異のスピード力の秘訣**」。いわく○目標とスケジュールを明確化 ○会議内容を全議員で共有 ○会議は全員発言 ○マスコミへの取材依頼・・・民間企業なら普通に実施されている事柄ですが、議会では全議員の合意形成を得ようとするため難しい。塩尻の視察で、**民間の効率性が議会でも通用する確証**を得ました。

ここでも「議員間で温度差がある中いかに議会改革を？」と質問。いわく「若手議員が全力疾走し、ベテラン議員が暖かく協力」とのこと。つまり**やる気のある議員が引っ張って**いくのがカギと再認識。有益情報を多く得たと同時に、改めて気合が入った視察でした。

